

経営比較分析表（令和6年度決算）

滋賀県 野洲市

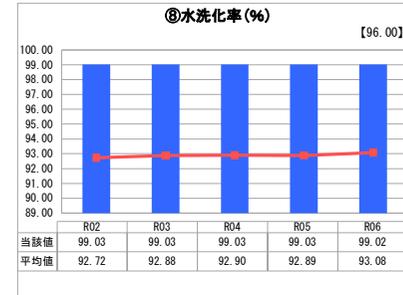
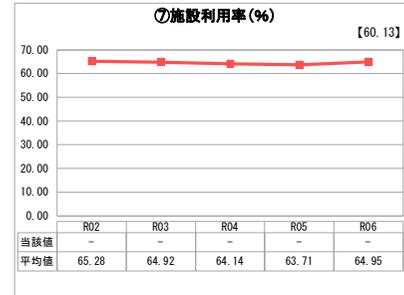
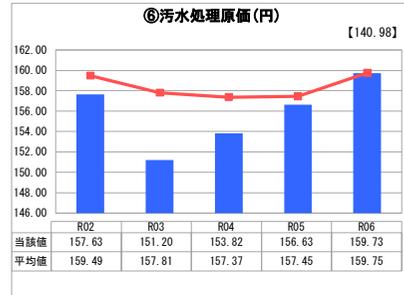
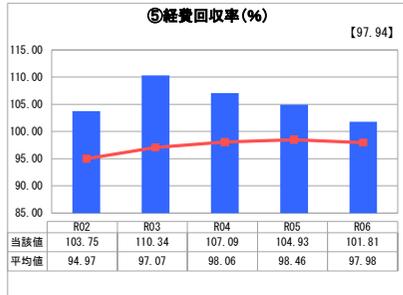
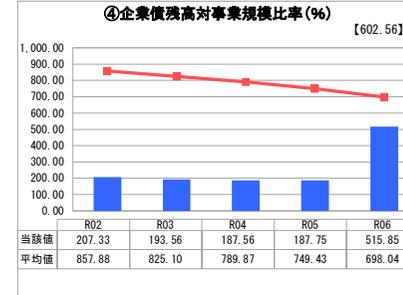
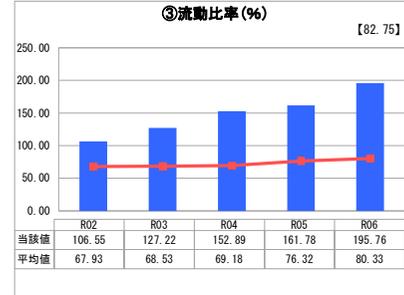
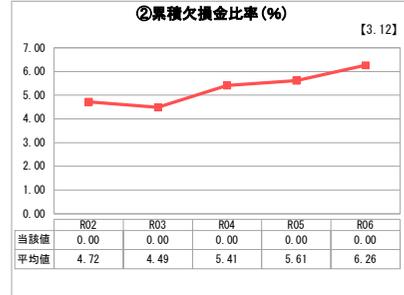
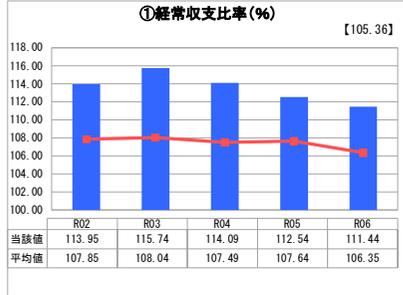
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.98	79.18	84.78	2,921

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
50,607	80.15	631.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
39,984	9.77	4,092.53

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

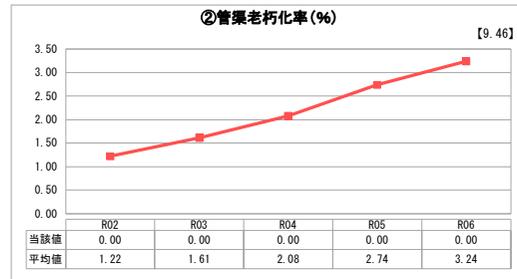
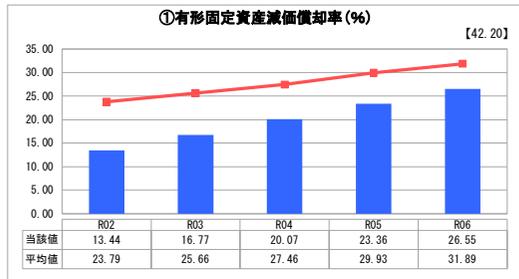
1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超え、累積欠損金比率も0であり、安定した経営状況である。また、流動比率は100%を超えてきており、短期的な支出に対する資金が賸りつつある。しかし、更新財源等を考えると十分財源が確保されている状況ではなく、経営改善を進める必要がある。企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して低い水準となっているが、企業の業績悪化に伴い下水道使用料が減少しているため、急激に増加している。経費回収率は100%を上回っており、類似団体と比較してやや高い水準となっている。汚水処理原価は有収水量の減少により、徐々に増加している傾向がある。施設利用率は流域関連下水道であるため、0となっている。水洗化率は、類似団体と比較して高い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して低い水準となっているが、年々資産の老朽化率が上昇しつつある。管渠老朽化率、管渠改善率は0となっており、耐用年数を超えた管渠はない。しかし、今後増加していくことが見込まれるため、更新需要の把握が必要となる。

2. 老朽化の状況



全体総括

有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して低い水準となっているが、年々資産の老朽化率が上昇しつつある。管渠老朽化率、管渠改善率は0となっており、耐用年数を超えた管渠はない。しかし、今後増加していくことが見込まれるため、更新需要の把握が必要となる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。